

# 旅アト

世界の課題や取り組み事例について調べてみよう。

身近な課題や取り組み事例について調べてみよう。

SDGs ゴールを自分の言葉で訳してみよう。

富山市の事例をもとに地域や世界に対して、自分でできることを調べてみよう。

中心市街地の賑わいづくり

## 富山市民プラザ

都市の歴史を、富山から。



富山市コンパクトシティ政策の3本柱の1つである「中心市街地活性化」を目的に、広場の運営やイベントの実施、学生シェアハウスの運営など様々な事業に取り組んでいます。

中心市街地に人が集い、交流し、新しいできごとに出会える機会を作ることによって人々の生活をより豊かにすることを目指しています。

まちなかをツアーで巡りながら事業をご紹介します、まちづくりの取り組みを知るとともに、地域や日本の課題を考えるプログラムです。



旅マエ 考えてみよう。 調べてみよう。 わからないことを書き出してみよう。

- 富山のコンパクトシティとは？
- 少子高齢化になったら何が困るかな？

市民プラザ 大手町農園

富山市民プラザビルの屋上でサツマイモ栽培や養蜂を行っています。使っていない屋上を活用しており、遊休不動産の活用につなげたり、環境問題を考えることを目的としています。  
この活動は青池学園や富山商業高校の学生と連携して行っており、学生にとっても環境問題を考える機会となっています。このツアーでは、屋上緑化はなぜ大切なのか、ミツバチは私たちとどのような関係があるのか、生態系や環境問題について学びます。

※時期が合えば、現地見学可。



▲さつまいも栽培



▲養蜂

グランドプラザ

まちなかの賑わいづくりを目的に、2007年に中心市街地の一等地に「グランドプラザ」という広場が整備されました。ガラスの屋根が特徴で、雨が降っても安心な全天候型広場です。年間約100件以上のイベントが催され、休日はいつも賑わいが生まれており、平日は人々の集いの場となっています。『うれしい人と出会う場所。たのしいコトと出会う場所。』をモットーに、人が集うしかけづくりを行っています。このツアーでは、グランドプラザを現地見学しながら、賑わいづくりの取り組みについて学びます。



▲エコリンク



▲ダンボール迷路

気になったことを書いてみよう。

まちなか学生シェアハウス fil

まちなかの空きビルをリノベーションし、2022年に学生シェアハウスを整備しました。入居条件は「まちなかの活動に参加できる学生」。ただ場所をシェアするのではなく、地域や商店主、企業など様々な方と関わり、暮らしや価値観などもシェアできるシェアハウスです。

県外就職による若者不足や少子高齢化が進むなか、次の世代を担う若者が、まちを知り、まちと関わるきっかけをつくることで、富山の定住に繋がったり、まちの賑わいに繋がることを目指しています。

※希望があれば、内見可能。



▲外観



▲富山大学と包括連携協定を締結

地場もん屋総本店

富山市産の野菜や果物、加工品等を販売しているまちなかの直売所です。農家や農地の減少や、農家の高齢化問題が深刻化する中、富山の農家を増やすことや地産地消を進めることを目的に整備されました。

現在は、地場もん屋に出荷する農家や来店者が増え、店内はいつも賑わっています。また、生産者が売り場に直接納品しているため、農家とお客さんとの交流の場ともなっています。

このツアーでは、地産地消や食に関する問題について学び、今後私たちにできることを考える機会をつくります。



▲外観



▲生産者の写真

